

## 金剛頂經入門シリーズ《全五巻》

不空訳『金剛頂一切如來真実大乘現証大教王經』(三巻本)と施護訳『仏說一切如來真実大乘現証三昧大教王經』(三十巻本)を梵本とチベット訳本、さらには漢藏註釈書を用いて徹底解説する、金剛頂經入門の書にして最先端の研究成果！

本文は、上段の漢文に対応させ、下段に書き下し文を配置、そこで梵藏漢の異同も併記。また、段落ごとの詳細な解説で、初学者にも好適

遠藤祐純 金剛頂經関連書籍

金剛頂經 初会金剛頂經 金剛界品 金剛界大曼荼羅 〈三巻本〉

金剛頂經

① 初会金剛頂經 金剛界品

金剛頂經

② 初会金剛頂經 降三世品

金剛頂經

③ 初会金剛頂經 遍調伏品・一切義成就品

金剛頂經

④ 初会金剛頂經 後怛特羅・後々怛特羅・流通分

金剛頂經

戒律概説

—初期仏教から密教へ

【梗概】三学の戒／中国における律典と戒經の訳出／西藏への仏教伝来と律典の訳出／日本への仏教伝来と戒・律（鑑真和尚の来朝／日本仏教における戒・律）／上座部仏教における戒・律（七衆在家戒／出家戒／律藏）／大乗仏教における戒・律（三聚淨戒／梵網戒／十無尽戒）／密教における戒・律（金剛乘根本過／『大日經』における三世無障礙智戒／金剛頂經における戒／『大日經』／『金剛頂經』における禁戒／三昧耶と根本壇／三昧耶戒）／十善戒（十善業道と十善戒）

A5判・上製・箱入 定価10,900円



A5判・上製・布クロス装・箱入 5巻セット価格 64,000円（税込）

◆ご注文・お問合せは下記へお願いします

図書出版 ノンブル社

〒169-0051 東京都新宿区西早稲田1-8-22-2F  
電話 03-3203-3357 FAX 03-3203-2156

# 金剛頂經研究

遠藤祐純

大正大学名誉教授・蓮花寺仏教研究所代表

ノンブル社

- I 仏教における密教的素因
- II タントラ
- III 金剛頂經
- IV 金剛頂經の付法と相承

斯学の第一人者による長年にわたる研究の集大成

A5判・上製・布クロス装・箱入・総448頁 定価12,600円

Photo by Ryokai

# Contents

## I 仏教における密教的因素

### 著者のことば

遠くインダス文明に起源をもつインドの種々の思想、宗教、哲学、文学、芸術等は、なお混沌の中にある、未だ、総合的、体系的な解明には達していない。急速な近代化の流れの中にある今日のインドにおいては、なお将来に期待できないように思われる。

あらゆる分野に涉る、個々の優れた、高度の研究は汗牛充棟の相を呈し、惑わされることも多いが、益するところ極めて大であり、インド理解に有益であることは言を俟たない。しかし多民族、多言語、そして対象が時間的にも領域的にも広汎で複雑多岐に涉っているため、群盲象を撫でるの感もまた免れない。

宗教、哲学、思想に限つても、研究によつて照射される部分は、スポットライトのよう局限されており、当てられた光の陰に残る部分、そして、照射されずに歴史に姿を見せない暗闇にこそ、インドの真実の姿が隠されており、それが、あらゆる文化事象の底流となつてゐるのではないか。

インド学の泰斗シリルヴァン・レヴィイが「いつの頃からかインドは幻想の地になつてゐる」と慨歎している。大地を焦がす灼熱の陽炎の中に揺らめく景色が、我々を欺き惑わすように、インドは、眞の姿を見せようとはしない。これがインドの眞の姿なのかもしれない。特に、宗教、哲学、思想は、それに秘儀が加わるので、解明される部分は限られていることに思いを致さねばならない。

多年にわたる厖大な研究の蓄積は、インドを明かす上で多大の功績をもつと同時に、未知、未解の領域を一層拡大したといふ役目を担つてゐる。

レビイのいう「幻想の地」として、丸ごとインドを理解しようとするにも、何故、インドが「幻想の地」というヴェールの陰に姿を隠すのか、それを明かすこと、インド理解の一つの有効な手段であろう。広くインド文化圏内にある我々は、その視座から研究の歩みを進めなければならぬ。それは、当然、異文化圏の研究者とは異なるった視座からの研究になるだろう。

本書は、インドの文化土壤を背景に興起し生まれた佛教の中、密教、特に瑜伽タントラに属する金剛頂經を対象としたものである。そして、「佛教タントラ」あるいは「タントラ佛教」と呼ばれ、密教が佛教内にタントラとして定着していくた経緯を検じたい。「はじめ」より抜粋)

## III 金剛頂經

### 剛頂宗經

### 二、「依金剛頂瑜珈」等の文を有する經軌

### 三、金剛界について

### 四、五相成身觀を説く經軌

### 五、阿婆頗那伽三摩地

### 六、真実

### 七、器・非器

### 八、五相成身觀

### 九、入曼荼羅

### 十、金剛薩埵百八名讚

### 十一、十六尊の出生

### 一二、金剛頂經の付法と相承

### 一、金剛頂經の付法

### 二、金剛頂經の相承譜

### 三、金剛智三藏

## I 初期仏教における咒

### (一)神通・神変

### (二)パリッタ (paritta)

### 三、部派佛教の呪藏

### (一)般若經

### (二)訳經に見られる密教化

### 四、密教

## II タントラ

### 一、タントラの分類

### (一)三藏・四藏・五藏

### (二)タントラの分類

### (三)タントラとしての『大日經』『金剛頂經』

### 二、タントラの諸相

### (一)『大日經廣釈』におけるタントラ理解

### (二)『菩薩道灯難語釈』におけるタントラ

### (三)タントラとしての『大日經』『金剛頂經』

### 三、瑜伽タントラについて

### (一)『総タントラ部解説』を中心に――

### (二)波羅蜜藏より真言藏が特に聖なる理趣

### (三)特に聖なるタントラ部の区別

### 四、密教

### (一)『金剛頂經』における阿婆頗那伽三摩地

### (二)諸經軌における阿婆頗那伽三摩地

### (三)阿含および仏伝における阿婆頗那伽三摩地

### 五、真実

### (一)真美請問

### (二)經題における真実

### 六、真実

### 七、器・非器

### (一)捷択弟子

### (二)機と器

### (三)不應簡択器非器

### 八、五相成身觀

### (一)阿婆頗那伽三摩地および印契

### (二)五相成身觀の構造

### (三)心から身へ

### 九、入曼荼羅

### (一)入壇灌頂

### (二)捷択弟子

### (三)入壇時の覆面

### 十、金剛薩埵百八名讚

### (一)金剛薩埵品における百八名讚

### (二)十六大菩薩の出生

### (三)一切義成就菩薩の成道

### 一一、十六尊の出生

### (一)漢訳における百八名数 / (2)藏訳における百八名数 / (3)梵本における百八名数

### (二)行タントラ

### (一)發心の理趣 / (ii) 中間に(福智)聚を積集する理趣 / (iii) 最後に円成仏する理趣 / (iv) 法輪を転ずる理趣

### (二)金剛界品 / (i)降三世品 / (ii)遍調伏品 / (3)一切義成就品 / (4)後怛特羅 / (5)後々怛特羅 / (6)流通分

### (三)法輪を転ずる理趣 / (ii) 中間に(福智)聚を積集する理趣 / (iii) 最後に円成仏する理趣 / (iv) 法輪を転ずる理趣

### (四)金剛頂經の付法と相承譜

### (一)開内庫

### (二)密教東漸の兆

### (三)金剛智三藏

### 一二、『瑜伽タントラの海に入る船』を中心

### (一)『総タントラ部解説』と『瑜伽タントラの海に入る船』

### (二)『瑜伽タントラの海に入る船』

### (一)真言乘が特に聖なる理趣

### (二)特に聖なるタントラの区別

### (三)瑜伽タントラは如何に説かれたかの理趣

### (四)説かれたタントラの義差別